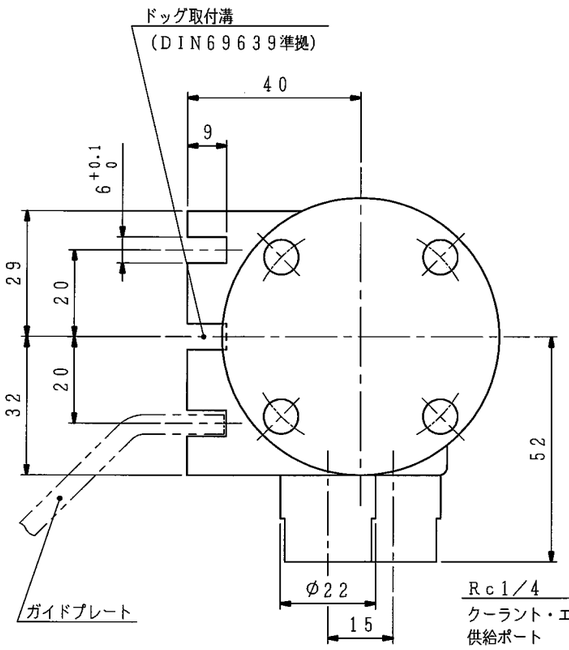
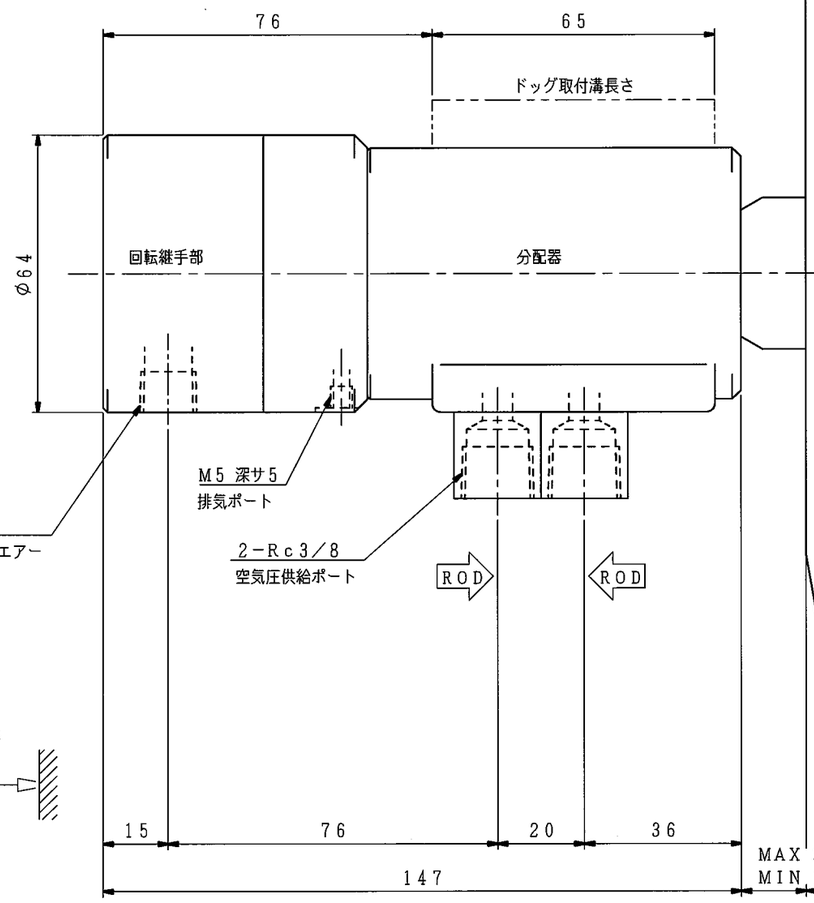
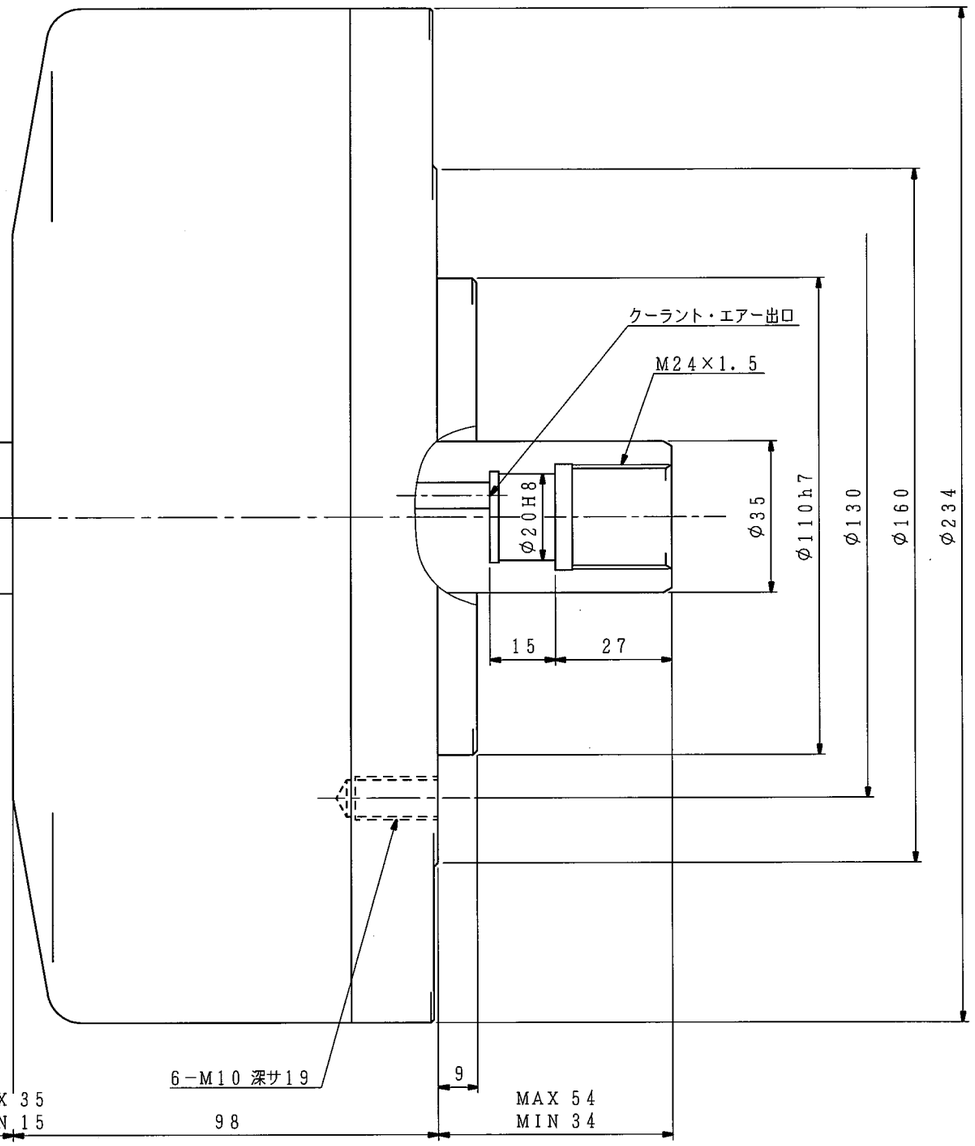
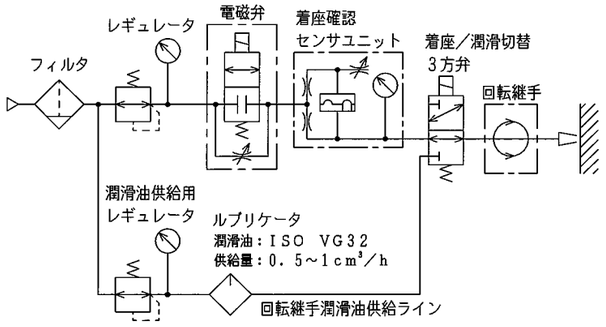
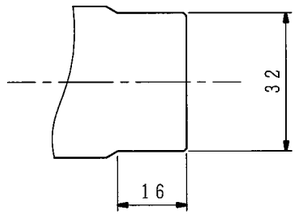






回転継手シール面潤滑方法の例





仕様		
シリンダ形番		H06C200
シリンダ内径		200 mm
ピストンストローク		20 mm
受圧面積	押側	304.5 cm²
	引側	304.5
使用空気圧力	最大	0.8 MPa
	常用	
最高使用回転数		3500 r/min
質量		17 kg
慣性モーメント		この値の4倍がGD²に相当します。 0.12 kg·m²
空気漏洩量		0.40 L/sec (A.N.R.)

不つりあい量：シリンダ外周にて2.5g以下。(JIS B0905 S mm/s相当)

(1 kN=101.97 kgf, 1 MPa=10.197 kgf/cm²)

回転継手部仕様		
使用流体		エアーまたはクーラント
最高使用圧力	エアー	0.5 MPa
	クーラント	

記

1. 配管材はシリンダや分配器に無理な力が掛からないようフレキシブルホースを使用して下さい。
2. 分配器は機台に固定せず，図示のようなガイドプレートを挿入する方法を用いて回り止めを設けて下さい。
3. 使用空気圧力は当シリンダ単体での値です。チャックの仕様欄で指示された値に合わせて使用して下さい。
4. 清浄で適切に潤滑油を混入させた圧縮空気を用いないと，各部の摩耗を促進し，製品の寿命を著しく縮める結果となるこがあります。
   フィルタのろ過度は5μm以下，潤滑油種はISO VG32相当のものをご使用下さい。
5. 排気ポートからは通常，仕様欄の空気漏洩があります．水分の多い空気を用いると油の混入した水滴が落ちる場合があります．このため，水分が悪い影響を与える場合は，影響を及ぼさない場所まで配管しておいて下さい。
6. 排気ポートよりクーラントまたはエアーの漏れが生じた時は、回転継手の寿命ですから新品に交換願います．またM5のタップが設けてありますが，このタップ穴は絶対に塞がないようにして下さい。
7. 配管を行う前に，Rc1/4ポート（クーラント・エアー供給ポート）にISO VG32相当のオイルを，約4mL注入して下さい。
8. 着座確認用エアーの場合，エアー回路にはシール面潤滑のため図示例のような方法で潤滑油を供給して下さい。
   (潤滑油：ISO VG32，供給量：0.5～1cm³/h)
9. クーラント回路には，機能に有害な切粉が混入しないようにフィルタを設置して下さい。（推奨25μm）
   (その他の流体については弊社にお問い合わせ下さい。)

外注先コード

図面配布部数		
		90
熱処理		91
06		93
		94
		95
31		96
32		97
38		98
43		99
51		M
62A	技術	
62B	品・検	
68		
71	生産	
76	営定	
81	設計	
	計	

除去加工品	m	c
0.5以上 3以下	±0.1	±0.2
3を超え 6 〃	±0.1	±0.3
6 〃 30 〃	±0.2	±0.5
30 〃 120 〃	±0.3	±0.8
120 〃 400 〃	±0.5	±1.2
400 〃 1000 〃	±0.8	±2.0
鋳鉄品	精級	並級
プレス品	B級	C級

符号	訂正記事	承認日付	承認	点検	担当
5					
4					
3					
2					
1					

納入先

○計画図 ◎納入仕様図 ○見積図 ○製作図

尺度 SCALE 1:1

承認 APPROVED 点検 CHECKED 担当 DESIGNED

日付 日付 日付

H06C200

名称 TITLE 回転エアーシリンダ（注水形）

図番 DRAWING NO. B-5129C

豊和工業株式會社
HOWA MACHINERY, LTD.

A2